

SEI*WORLD

10 2014
Vol.445



SEI*WORLD

10 2014
Vol.445

住友電工グループの目指すべき姿「Glorious Excellent Company」

Glorious には400年余の歴史をもつ「住友事業精神」や「住友電工グループ経営理念」の具現化を、
Excellent には持続的成長のための事業目標、すなわち住友電工グループの具体的・定量的な
あるべき姿を示しています。

Contents



2 トップメッセージ

一隅を照らす



6 Latest Information

当社のOFケーブルが
国立科学博物館
「未来技術遺産」に登録



3 特集

「第27回
日本国際工作機械見本市
JIMTOF2014」に出展



9 今月のグループ会社紹介

インドネシア共和国SIWS社
PT. Sumi Indo Wiring Systems



5 製品技術

バッテリー内蔵
交通信号制御機



TOP MESSAGE

一隅を照らす

住友電気工業株式会社 社長 松本 正義



本号でもご紹介しておりますが、当社のOFケーブル[※]が、日本の科学技術発展を示す貴重な科学技術史資料として、国立科学博物館が選定する2014年度「未来技術遺産」に登録されました。

「未来技術遺産」の選定は、日本の産業技術史の中でエポックメイキングな技術、社会・生活に大きな影響を与えた製品などを、次世代に継承していけるようにと2008年に始まった取り組みで、本年選定分を含めこれまでに200点近くの製品・技術が登録されています。今月でちょうど開業50周年を迎える東海道新幹線の0系車両や、白黒テレビ、電子卓上計算機など、「ああ、あれか」とすぐに思い出せる製品も多数認定されています。

今回登録された当社のOFケーブルは、1930（昭和5）年に作られたものですが、当時の技術者は、80余年の後に再び脚光を浴びるなどとは

思っていなかったことでしょう。この間、幾人もの技術者が、改良を繰り返し、信頼性を高める努力を重ねたことで、OFケーブルは電力輸送の重要なインフラとして社会を支え続けてきました。一般の皆様にはなじみの薄い製品ではありますが、今回選定していただいたことは誠に有難く、また意義のあることであろうと思います。

現在でも、当社グループでは多くの社員が、優れた技術を開発し、社会に役立つ製品を世に送り出すために日夜奮闘しております。「一隅を照らす」という言葉がありますが、華やかな仕事でなくとも、毎日の仕事に矜持を持って一所懸命に取り組んでほしい、と社員にはいつも伝えております。何十年か経って、後の人が「良い仕事してくれた」と言ってくれるなら、これほど素晴らしいことはないのではないのでしょうか。

※66 kV OFZN 675 mm² ケーブル

JIMTOF2014

「第27回日本国際工作機械見本市」に出展

10月30日(木)から11月4日(火)まで東京ビッグサイトで開催される、JIMTOF2014 第27回日本国際工作機械見本市は、国内外トップメーカーが一堂に会し、最先端の工作機械、周辺機器を世界に最も早く発表する展示会で、毎回、全世界から10万人以上の方が訪れます。当社グループは、工作機械には欠かせない切削工具のサプライヤーとして、最新製品・技術を展示しています。

会期 **10月30日(木)～11月4日(火)**

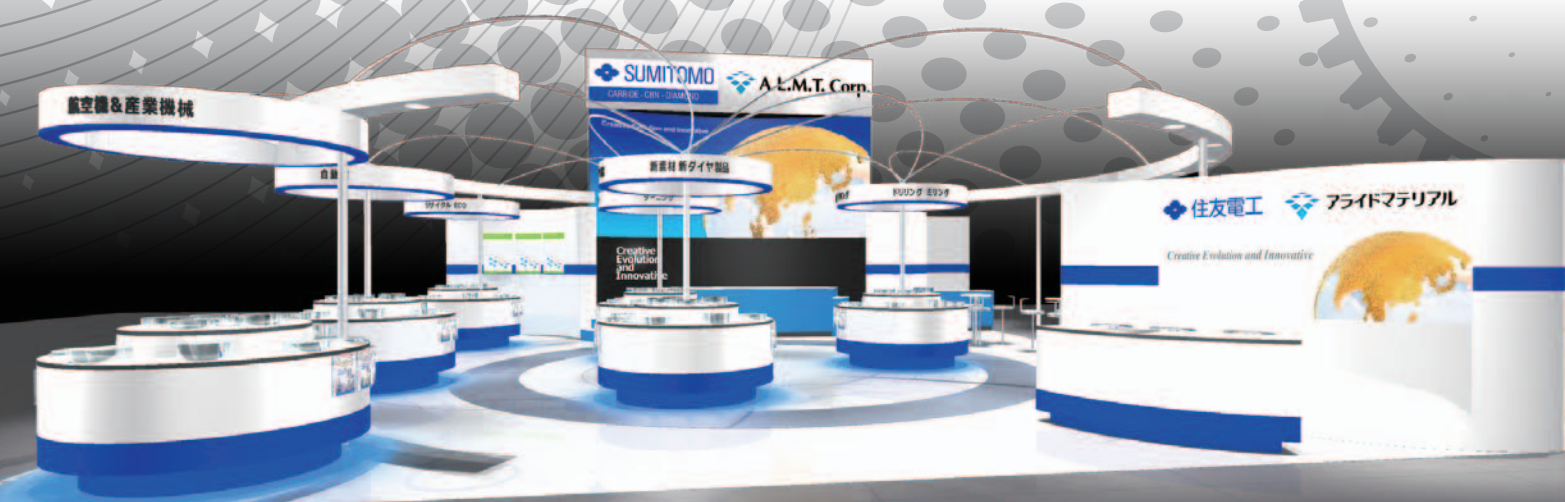
会場 **東京ビッグサイト(東京国際展示場)**

ブース番号 **W1019・W1020**

出展製品 **超硬切削工具、ダイヤモンド切削工具など**

展示会Webサイト <http://www.jimtof.org>

住友電工・ハードメタル事業部 <http://www.sumitool.com/>



住友電工・アライドマテリアル合同ブース(予想図)

展示会担当者 ご挨拶

今回のブーステーマは、「Global Support, Global Solutions. 世界をつなぐ最先端ソリューション」です。ブースでは、当社が国内外10拠点に展開する施設「ツールエンジニアリングセンター(TEC)」の紹介や、従来の切削加工の常識を変えるような革新的な工具の展示を行います。ご来場いただいたお客さまには、当社の提案する「最先端の加工技術」と「グローバルなものづくりサポート体制」を感じていただければと思います。



ハードメタル事業部 グローバルマーケティング部 入川 卓斗

見どころピックアップ!

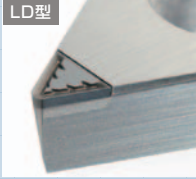
JIMTOF2014で展示する新製品を紹介します。

スミダイヤ® ブレイクマスター® LD型 / GD型

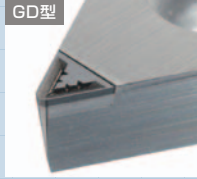
チップ刃先のダイヤモンド焼結体に3次元形状のチップブレーカ*を搭載したスミダイヤ® ブレイクマスター® LD型 / GD型を開発しました。スミダイヤ® ブレイクマスター® LD型 / GD型は、アルミニウム合金の加工に最適で、仕上げから中仕上げ領域の加工において切りくず処理の大幅な改善が可能です。仕上げ用LD型と中仕上げ用GD型をラインナップしています。工具材種には超微粒のダイヤモンドを高密度に焼結したスミダイヤ® DA1000を採用し、優れた耐磨耗性・耐欠損性を発揮します。

※チップブレーカ：切削加工中に発生する切りくずを分断するために設けられた工具先端の突起や溝のこと。

LD型



GD型



ステンレス鋼旋削用新材種 AC6030M / AC6040M

ステンレス鋼旋削用新材種AC6030M / AC6040Mは、ステンレス鋼を切削加工する際に推奨する工具材種です。自動車部品や機械構造部品などに幅広く使用されているステンレス鋼は、耐食性が高く、溶剤塗装が不要であることから環境負荷も低く、かつリサイクル性に優れるため、その需要は年々着実に伸びています。しかし、ステンレス鋼を切削加工する際の問題として、加工面が硬化しやすいため工具の刃先が欠けやすい、また熱伝導性が低いため切削熱が逃げにくく、工具刃先が高温となり、塑性変形が起きやすいといった点があります。AC6030M / AC6040Mは、ステンレス鋼の切削加工時に起こるこうした問題を解決し、安定した長寿命の加工を実現します。

AC6030M

新開発のホウ化物系チタン化合物被膜をチップの最表層に被覆することで、コーティング膜の大幅な強度向上と優れた表面平滑性が得られ、加工の安定性を実現しました。AC6030Mは、進化したCVD独自技術によって開発されたコーティング、アブソテック™ プラチナ (Absotech™ Platinum) により、従来コーティング膜対比2倍以上の耐チップング性を実現するとともに、耐溶着性を大幅に向上させたステンレス鋼の一般旋削加工第一推奨材種です。

AC6040M

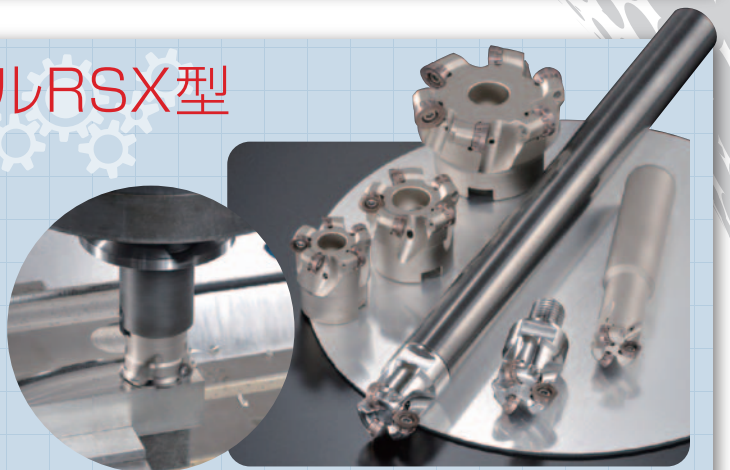
当社独自の超多層薄膜構造を継承するとともに、耐熱性に優れた新組成TiAlSiN系超多層膜を採用し、さらに新開発の超硬基材とコーティング膜との界面制御技術を用いることで、コーティング膜の耐剥離性を大幅に向上させることに成功しました。

AC6040Mは、進化したPVD独自技術によって開発されたコーティング、アブソテック™ ブロンズ (Absotech™ Bronze) により、ステンレス鋼のバルブ、フランジや継手などの配管部品加工などにおいて、従来比2倍以上の耐欠損性を実現させたステンレス鋼の断続加工第一推奨材種です。

SEC-ウェーブラジラスミルRSX型

SEC-ウェーブラジラスミルRSX型は、ステンレス鋼・インコネルなどの難削材を金型彫り込み加工、傾斜加工、ヘリカル加工などで使用できるカッタです。鋭い切れ味と剛性を両立したボディ設計により、被削材を固定する力が弱い場合や、剛性の低い工作機械での加工時に発生するびびり*を抑制でき、安定した加工が可能です。さらにチップの取り付けを容易に行うことができる独自のチップ位置決め機構を採用したことで、高精度かつ高い操作性で容易なチップのコーナー管理を実現しました。

※びびり：加工中、工具と切削物間で発生する振動のこと。びびりが発生すると加工面品位の悪化とともに工具寿命が短くなる。



上記の新製品に加え、多数の新製品や当社の最新サービスをご紹介します。

もっと知りたい
あの製品技術

製品データ

発売開始

2013年9月

生産拠点

日本

WEBサイトURL

[http://www.seiss.co.jp/
products/its_hard/
index.html](http://www.seiss.co.jp/products/its_hard/index.html)

今月の注目製品

バッテリー内蔵 交通信号制御機

ふだん街で見かける青・黄・赤の信号灯器は、自動車や歩行者が安全で円滑に道路を通行するために欠かせない製品です。今回は、その信号灯器を安定的に稼働させるための製品を紹介します。

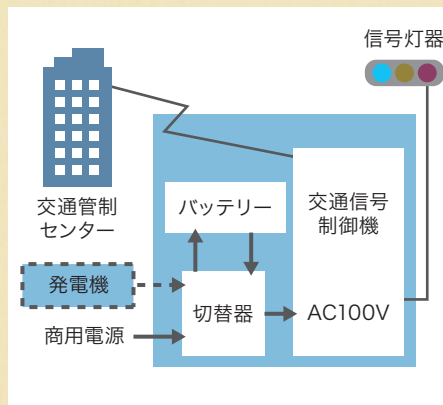
今回は住友電気システムソリューション(株)の製品です。



バッテリー内蔵交通信号制御機ってなに？

交通信号制御機は、例えば集中制御方式の場合、交通管制センターからの指令に応じて、信号灯器の点灯時間を制御しています。交通需要に応じ制御を行うことで、安全かつ円滑で、さらには環境にやさしい道路交通環境の構築に貢献しています。一般の交通信号制御機は、商用電源からの電力によって稼働していますが、もし落雷などによる停電が発生した場合、信号灯器が滅灯してしまい、交通がマヒしてしまう恐れがあります。

このバッテリー内蔵交通信号制御機は、通常は一般の交通信号制御機と同様、商用電源で稼働していますが、停電が発生した際には、内蔵するバッテリーに自動的にかつ瞬時に切り替わることにより、信号灯器の滅灯を発生させません。標準的な交差点であれば、満充電状態のバッテリーで3時間以上動作させることが可能です。



どんなところで使われているの？

交通信号制御機は交差点付近に設置されています。現在、当社の製品は、東京都の主要な交差点約60力所に導入されています。本製品を設置後に、東京都内で大規模な停電がありましたが、本製品がきちんと稼働し、信号灯器の滅灯を防ぐことができました。

技術者に 聞きました



住友電気システム
ソリューション(株)
ITS・インフラ事業本部
ITS開発センター
南村 健一

バッテリー内蔵交通信号制御機 開発のきっかけは？

東日本大震災の際に停電による滅灯で、交通が大混乱したことがきっかけです。また大震災以降、東京都内でも計画停電が実施され、交通整理のために多くの警察官が動員されました。信号灯器を滅灯させない交通信号制御機へのニーズの高まりを受けて、当社ではバッテリーを内蔵した交通信号制御機を開発することになりました。

開発でどんなところに苦労しましたか？

交通信号制御機は、人や車が往来する交差点に設置されます。そのため、筐体の大きさに制約があり、従来から使用している筐体の中にバッテリーを内蔵させることに一番苦労しました。切替器に小型の部品を採用したり、内部のレイアウトを変更したりと工夫しましたが、バッテリーを実装するスペースをまだ確保することができませんでした。そこで、協力会社と共同で小型のバッテリーを開発することで、従来から使用している大きさの筐体の中に無事収納させることができました。また、人や車の往来がある場所に設置するため、安全性が求められます。約8カ月という短い開発期間でしたが、製品の安全性評価には十分な時間をかけました。

お知らせ

電線・機材・エネルギー事業本部、株ジェイ・パワーシステムズ



当社のOFケーブルが国立科学博物館「未来技術遺産」に登録

当社の66kV OFZN675mm²ケーブルが、日本の科学技術発展を示す貴重な科学技術史資料として、独立行政法人国立科学博物館（以下、国立科学博物館）が主催する2014年度「重要科学技術史資料」（愛称：未来技術遺産）に登録されました。

未来技術遺産は、国立科学博物館が、「科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ科学技術史資料」および「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えた科学技術史資料」の保存と活用を図るため、2008年度からおこなっている登録制度で、本年度は49件が登録されました。

今回登録された66kV OFZN675mm²ケーブルは、1930年（昭和5年）に日本で初めて使用された66kV OF（Oil filled）ケーブルで、日本電力（当時）の東京京北～尾久変電所間の送電用に布設されました。また現存する最古のOFケーブルです。

ケーブル布設55年後の1985年（昭和60年）に、電気特性、絶縁紙の特性などを調査したところ、若干の劣化もみられましたが、いずれも良好な特性を保持しており、高い信頼性と長期性能を有していることが確認されました。調査結果が示したように、高い信頼性により、現在でも電力輸送に活用されており、こうした点が評価され、2014年度「重要科学技術史資料」に登録されました。

66kV OFZN675mm²ケーブル
（弊社・大阪製作所 所蔵）

当社は、これからも、電線メーカーとしての独自の技術を活かして、社会の発展に貢献できる製品開発に取り組んでいきます。

登録証授与式の様子



受賞

住友電工スチールワイヤー㈱



プレストレストコンクリート工学会より平成25年度「技術開発賞」を受賞



住友電工スチールワイヤー㈱（以下、当社）と西日本旅客鉄道㈱、ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱が共同開発した「既設PC*桁の外ケーブル張力モニタリング方式」について、公益社団法人プレストレストコンクリート工学会より、当社PC技術部 及川 雅司らが、「技術開発賞」を受賞しました。

当該方式が採用された鉄道橋

今回開発した方式は、既設PC橋全体の安全性のモニタリングと補強の両立を実現したもので、当社が開発した後付け補強ケーブルシステム（外ケーブル）と張力センサが適用されています。従来のコンクリート表面からの削孔による調査などの局所的な調査方法に比べ、橋全体の挙動を外ケーブルの張力値として定量的に評価できることが大きな特長です。また将来、張力値に変状が確認された場合には、外ケーブルの導入張力を増加させることにより、速やかにPC橋の性能を回復させることができます。

本受賞は、既存の社会インフラに対する画期的な維持管理方法であることが高く評価されたものです。

* PC（プレストレストコンクリート）：長大橋、タンクやビルなどの大型建造物に高い強度を持たせるため、PC鋼材によって圧縮力を加えたコンクリート。

賞状



お知らせ

住友電工情報システム㈱



「CMMI Ver.1.3」で成熟度レベル5を達成

住友電工情報システム㈱は、住友電工グループ向けシステム開発を担う部門において、「CMMI (Capability Maturity Model Integration) *Ver.1.3」の最高水準となる成熟度レベル5を達成しました。

現在、登録されているCMMI Ver.1.3での成熟度レベル5の達成は、日本で5社目となります。

住友電工情報システム㈱では、2011年、当社とともに一部のプロジェクトチームで、CMMIレベル5を達成しましたが、その後、対象組織を拡大して、住友電工グループ向けシステム開発を担う組織全体において、より一層のシステム品質の向上、組織の開発能力の向上を目的としてCMMI活動を進め、継続的にプロセス改善を実施した結果、今回のレベル5の達成となりました。

今後も、今回整備した経験やノウハウを有効活用し、継続的なプロセス改善を進めるとともに、他のシステム・ソフトウェア開発部門にも展開し、お客さまにより良い製品を提供し、コンピュータシステムの品質維持・向上に努めていきます。

* CMMI：カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所で開発されたソフトウェア開発をおこなう組織の成熟度を評価・判断する国際的な指標です。成熟度は5段階のレベルで表現され、各成熟度を満足するための有効なプロセスの特長を定義しています。レベル5は、ソフトウェア開発のプロセスが組織として標準化され、プロセスの実行状況が定量的に管理され、継続的なプロセス改善が実施できる状況にある組織を示します。

・CMMI, Capability Maturity Model は、米国 Carnegie Mellon Universityの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

LATEST information

お知らせ

住友電工情報システム㈱



Web購買システム「楽々Procurement® II」が株ミスマの「MISUMI-VONA 生産材コマースサイト」と連携 ~900万点、1500メーカーのものづくり現場向け商品が調達可能に~

インターネットの普及により、企業の調達活動はますます多様化し、品目情報の定期メンテナンス作業は購買部門にとって大きな負担になりつつあります。

このような中、Web購買システム「楽々Procurement® II (らくらくプロキュアメント・ツー)」は、(1) サプライヤがインターネット上に保有する品目カタログを直接参照して購入する「ダイナミックリンク・カタログ」、(2) 発注元企業が管理する品目カタログをサプライヤが直接メンテナンスする「ローカル・カタログ」、の2つの機能を提供することで、購買部門の負担の軽減につとめています。

今回「楽々Procurement® II」は、ものづくり現場向け生産材コマースサイトMISUMI-VONAサイトとの連携により、900万点以上にのぼる

アイテムをWebカタログの中から選択するだけで、「楽々Procurement® II」から簡単に購入できるようになりました。品目情報はMISUMI-VONAサイト側で最新の状態で保たれますので、自社内でメンテナンスする必要がありません。また、「楽々Procurement® II」を介してMISUMI-VONAサイトの商品検索やCADデータの無料ダウンロード、部品表の作成など、設計者の日々の業務を支援する便利なサービスを利用することも可能です。

当社では、MISUMI-VONAサイトとの連携を活かして、今後も、購買システムをご検討されているお客さまに向けて「楽々Procurement® II」を提案していきます。

・VONA は、株式会社ミスミグループ本社の登録商標です。

その他

人事総務部CSR推進室



「SEI CSR報告書2014」を公開

2013年度の住友電工グループの事業活動をCSR(企業の社会的責任)の観点から取りまとめた「SEI CSR報告書2014」を発行しました。

「SEI CSR報告書2014」では、2013年度に当社グループの中期経営計画「17VISION」策定に合わせ、CSR重点分野および重点テーマを設定したことに伴い、各重点テーマについて、基本的な考え方、実務担当者の取り組みを報告しています。

また、5つの重点テーマのうち「ダイバーシティ推進」「地球温暖化防止」「CSR調達推進」を採り上げ、開催した第4回ステークホルダー・ダイアログの概要を掲載したほか、CRF*に沿った環境会計の開示を継続しています。巻末には例年通り、独立第三者保証と第三者所見を掲載し、報告書の信頼性向上と情報開示のレベルアップに努めています。

「SEI CSR報告書2014」PDF版は、当社Webサイトにて公開しています。また、英語版および中国語版の報告書については、11月中に冊子の発行と当社Webサイトでの公開を予定しています。

※ CRF (Connected Reporting Framework) : 英国で開発された、財務情報と非財務情報を関連づけて開示する統合型報告スキーム。



その他

広報部



甘利大臣がレドックスフロー電池を視察

8月21日に、甘利 明・経済再生担当大臣 兼 内閣府特命担当大臣(経済財政政策)が、当社横浜製作所にてレドックスフロー電池をご視察くださいました。

ご視察後、「レドックスフロー電池は、日本の精緻なモノづくり技術があってこそ事業化できる技術だと認識した」などと述べられた上で、国としてもレドックスフロー電池の開発・海外展開を後押ししたいと仰ってくださいました。今後も、ご期待にそうよう開発・事業化を加速したいと思います。



甘利大臣(前列左から二人目)

展示会

営業企画部



「GITEX TECHNOLOGY WEEK 2014」に出展

10月12日(日)から16日(木)の5日間、中東で最大規模の情報通信関連展示会「GITEX TECHNOLOGY WEEK 2014」がアラブ首長国連邦・ドバイで開催されます。通信網整備が急速に進むドバイや周辺中東諸国でのさらなる拡販を目指し、光融着接続機をはじめ、当社の優れたFTTx製品、技術を紹介します。

公式サイト	http://www.gitex.com/
会期	10月12日(日)~16日(木)
会場	ドバイワールドトレードセンター
ブース番号	ZL-D6
出展製品	光ファイバ配線ソリューション製品群

展示会

ハードメタル事業部



インターオプト2014
「InterOpto2014」に出展

10月15日(水)から17日(金)の3日間、パシフィック横浜において「InterOpto2014」が開催されます。本展示会は国内外のフォトニクス製品・技術が集結する、先端光技術の国際総合展です。光に関連する全てのものを対象とし、レーザー・光源・材料・部品・装置・関連するサービスなど、幅広い最新技術・動向を展開しています。

fθレンズ

当社は高出力ファイバレーザ用非球面レンズや高速スキャンング用レンズ(fθレンズ)など各種光学部品を出展します。当社ブースへのご来場を心よりお待ちしております。



- 公式サイト <http://www.optojapan.jp/interopto/>
- 会期 10月15日(水)～17日(金)
- 会場 パシフィック横浜 **ブース番号** 1-905
- 出展製品 高出力ファイバレーザ用非球面レンズ、DOE*ホモジナイザ、分岐DOE、非球面ホモジナイザ、fθレンズ、放物面鏡

* DOE: Diffractive Optical Element 回折型光学部品

展示会

住友電工システムソリューション㈱



「スマートフォン&モバイルEXPO 2014【秋】」に出展

10月29日(水)から31日(金)の3日間、幕張メッセにおいて「スマートフォン&モバイルEXPO 2014【秋】」が開催されます。住友電工システムソリューション㈱は、



動態管理システム、配送計画システムをはじめとした物流ソリューション、およびテレマティクス/GIS開発エンジン「Traffic Vision® Engine」、交通情報・地図配信サービス「Traffic Vision® SERVICE」、スマートフォン&タブレット端末向けカーナビエンジン「AgentNavi®」を出展します。当社展示ブースへのご来場を心よりお待ちしております。

- 公式サイト http://www.smart-japan.jp/ja/Home_AKI/
- 会期 10月29日(水)～31日(金)
- 会場 幕張メッセ **ブース番号** 17-53
- 出展製品 配送計画システム、動態管理システム、Traffic Vision® Engine、Traffic Vision® SERVICE、AgentNavi®

展示会ブースイメージ

展示会

営業企画部、広報部



「International Greentech & Eco Products Exhibition & Conference Malaysia (IGEM) 2014」に出展

10月16日(木)から19日(日)の4日間、東南アジア最大級の環境・エネルギー分野の展示会「IGEM 2014」がマレーシア・クアラルンプール市で開催されます。

当社は、水処理膜モジュールや超電導製品など、環境・エネルギー製品全般をパンフレット、パネル、動画などを通じ、分かりやすく紹介します。



展示会ブースイメージ

- 公式サイト <http://www.igem.com.my/2014/>
- 会期 10月16日(木)～19日(日)
- 会場 クアラルンプール コンベンションセンター
- ブース番号 A172～A174
- 出展製品 水処理膜モジュール、超電導製品、巻線、焼結部品など

展示会

住友電工情報システム㈱



2014 Japan IT Week 秋
「第5回 クラウド コンピューティング EXPO【秋】」に出展

10月29日(水)から31日(金)の3日間、幕張メッセにおいて「Japan IT Week 秋」が開催されます。本展示会は全部で7つのIT専門展から構成され、住友電工情報システム㈱は、「クラウドコンピューティング EXPO」に出展します。当社は、クラウド型Webワークフローサービス「楽々Workflow®IIクラウド」などを出展します。当社ブースへのご来場をお待ちしております。

- 公式サイト <http://www.cloud-japan.jp/>
- 会期 10月29日(水)～31日(金)
- 会場 幕張メッセ **ブース番号** 5-41
- 出展製品 Webワークフローシステム「楽々Workflow®II」、クラウド型Webワークフローサービス「楽々Workflow®IIクラウド」、全文検索システム「QuickSolution®」、文書管理・情報共有システム「楽々Document® Plus」

展示会

住友電工情報システム㈱



「メッセナゴヤ 2014」に出展

11月5日(水)から8日(土)の4日間、ポートメッセなごやにおいて「メッセナゴヤ2014」が開催されます。本展示会は、業種や業態の枠を超え幅広い分野・地域からの出展を募り、出展者と来場者相互の取引拡大、情報発信、異業種交流を図る日本最大級のビジネス展示会です。住友電工情報システム㈱は、全文検索システム「QuickSolution®」などを出展いたします。当社ブースへのご来場をお待ちしております。

- 公式サイト <http://www.messenagoya.jp/>
- 会期 11月5日(水)～8日(土)
- 会場 ポートメッセなごや **ブース番号** 1Bc-3
- 出展製品 全文検索システム「QuickSolution®」、Webワークフローシステム「楽々Workflow®II」、文書管理・情報共有システム「楽々Document® Plus」

今月の グループ 会社紹介

グローバルグループ vol.30

SIWS

PT. Sumi Indo Wiring Systems

急成長を続けるインドネシア自動車産業の発展に貢献する
ワイヤーハーネス製造、販売会社、SIWSからのレポートです。

私が紹介します



営業課
尾上 将人



会社概要



名 称：PT. Sumi Indo Wiring Systems
設立年月：1992年12月
事業内容：ワイヤーハーネスの製造、販売
代 表 者：松本 忠嗣

住友電工
との
つながりは

PT. Sumi Indo Wiring Systems (略称SIWS) は、インドネシアでのワイヤーハーネス製造、販売を担う会社として1992年に設立されました。製造したワイヤーハーネスは、おもに日系自動車メーカーのインドネシア工場へ納入され、急成長しているインドネシア自動車産業を支えています。

こんな
仕事を
しています

変化に対応するスピード感をもって 日々の業務に精進

SIWSはインドネシアの首都であるジャカルタより東へ約80kmに位置し、自動車用ワイヤーハーネスの製造、販売を担っています。

私は2012年1月に当地における営業業務を担当するため赴任しましたが、当時はインドネシア自動車産業の急成長期で、インドネシアでの自動車生産台数も2011年の84万台から2013年は121万台と44%も増加しました。一方、2013年にはインドネシアルピアの急落を受け、海外からの購入部材費が大幅アップ、さらに公定最低賃金も2年間で約2倍となるなど、製造原価が急上昇したことにより、営業業務のみならず、原価低減活動の促進が非常に重要な業務となっています。

今後も成長が見込まれるインドネシア市場において、SIWSが継続的に発展し続けるために、変化に対応するスピード感をもって日々業務に精進したいと思います。



SIWSのスタッフ

現地スタッフの紹介



Handoko (ハンドコ)

こんにちは、ハンドコと申します。私は製造部長として、安全、品質、製造コストおよび出荷管理をおこなっています。特に製造能率の向上に重点的に取り組んでおります。苦労も多いですが、これまで従業員同士で協力しながら一つひとつ問題を解決してきました。今後ますます競合他社との競争も激しくなりますが、職場環境も年々改善し、従業員も活気が出てきており、この競争に打ち勝つことができると信じています。

製造部長として従業員のモチベーションをいかに向上させるかを今後も引き続き検討、実践していきます。



Tripranaputra (トリプラナプトラ)

私は2005年10月に入社したトリと申します。約9年間、主として生産管理、資材管理、物流管理業務を担当しています。

今後インドネシア自動車産業の発展と拡大を信じグローバル住友電工グループの一員としてお客さまの信頼を得て、シェア拡大を目指し、頑張っていきたいと思っております。

現地レビュー

経済の急激な発展と伝統的な風情のジャカルタ

ジャカルタの交通渋滞

ジャカルタの交通渋滞は激しく、ある調査では、市内から空港に向かう高速道路の一日あたりの平均交通量は、GW時の東名高速の約5倍との報告もあるほどです。お客さまとの会話もまずは、「混んでましたか？」から始まるのがジャカルタ流です。現在地下鉄建設も開始されていますが、完成は4、5年先であり、まだまだこの渋滞は続きそうです。



ジャカルタの渋滞



年に一度の社員旅行

仲間との調和を重視

スタッフ同士、非常に仲間意識が強いと感じます。時間をかけ信頼関係を築き、お互いに納得のもと物事を進めていく手法は、日本以上に重要であり、とても勉強になります。

興隆するLow Cost Carrier (LCC)

昨今日本でもLCCが人気ですが、インドネシアには非常に多くのLCCが運航しており、ジャカルタから観光地であるバリやジョグジャカルタ、シンガポールへ非常に安価に移動することができます。私も連休があれば、LCCを使って家族で観光に出かけています。



LCC



自宅から見たジャカルタの夕日



ジョグジャカルタ世界遺産 ボルブドゥール



インドネシア料理は焼き物、揚げ物が中心



美しいバリの海

Ingenious Dynamics

住友電工グループは、卓越した知見と独創性を持ち、
そのダイナミクスによって最大効果を創出し、社会の期待に応えていきます。

Ingenious は、それぞれが備え持つ卓越した能力と独創性、そして顧客志向の機動力を、
Dynamics は、原動力(住友の精神)、力学(多角化事業・技術によるグループ全体の総合力)、
変革のエネルギー(進取、気鋭)を表しています。また同時に、頭文字の「ID」は、
グローバルに「住友電工のアイデンティティ」(独自の個性)を積極的に発揮していく姿勢と、
「Infrastructure Development」(社会インフラの発展)に貢献し続ける意志を示しています。

住友電気工業株式会社

本 社(大阪) 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33(住友ビル) Tel. 06-6220-4119 Fax. 06-6222-6485
本 社(東京) 〒107-8468 東京都港区元赤坂1-3-13(赤坂センタービル) Tel. 03-6406-2600 Fax. 03-6406-2700
中 部 支 社 〒461-0005 名古屋市中区東栄1-1-6(住友商事名古屋ビル) Tel. 052-963-2700 Fax. 052-963-2818
九 州 支 店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-8(住友生命博多ビル) Tel. 092-441-1791 Fax. 092-473-7084
中 国 支 店 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-2(銀泉広島ビル) Tel. 082-248-1791 Fax. 082-249-3483
東 北 支 店 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-27(プライムスクエア広瀬通) Tel. 022-262-7540 Fax. 022-262-7538
北 海 道 支 店 〒060-0042 札幌市中央区大通西8-2(住友商事フカミヤ大通ビル) Tel. 011-241-1375 Fax. 011-281-4113
沖 縄 支 店 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-21-1(國場ビル3F) Tel. 098-866-3213 Fax. 098-866-0277
豊田事業所 〒471-0855 愛知県豊田市柿本町2-4-1 Tel. 0565-26-4105 Fax. 0565-26-4158

<http://www.sei.co.jp/>(バックナンバーも掲載しています)

住友電工グループニュースレター 第445号 2014年10月発行 編集発行人/野田太郎